

各位

公益財団法人 協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫 衆議院議員
両団体政治経済部会長 大野 松 茂
両団体 専務理事 清原 淳平

政治経済部会のお知らせ(第201回)

日時 平成31年3月19日(火)午後1時半～午後3時半
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第2会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館入り口にて通行証を差し上げます。

挨拶 部会長より 「昨今、政治経済について思うこと」
大野松茂元衆議院議員・内閣官房副長官(政策担当)

議題 1、米中貿易戦争に伴う日本への影響を検討する(奮っての御参加を!)
(前回、米中問題を当面の課題とすることになりました)
—— 井部秀恭委員から具体的問題点提起の上、意見交換 ——
2、大野松茂政治経済部会長のまとめ

★資料代として、金500円をいただきます。

来る、3月19日(火)午後1時半～3時半の政治経済部会に

当方のFAX 03-3507-8587

A、出席する B、欠席する(いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様の電話 _____ FAX _____

国会のテロ対策のため、警備からの要請により、原則会員(及び議員・秘書)。

非会員で御参加希望の方は、2日前までに履歴書を御送付ください(非会員は2千円)

当日連絡先 080-8836-6203(重田) 080-9292-2620(高津)

「公益財団法人 協和協会」事務局・Tel03-3581-1192 FAX 03-3507-8587

「時代を刷新する会」事務局・Tel 03-3272-4320、Eメールkiyohara@jidaisassin.jp

政治経済部会 2月19日の御報告

○ 大野松茂政治経済部会長より冒頭挨拶

日韓関係はどこまでこじれていくのか、憂慮している。大阪出身の李明博大統領も、父が日本の軍人だった朴権恵大統領も、トップに立った途端に反日的な言動・行動が目立つようになった。文在寅現大統領はさらにエスカレートした対日姿勢になっている。日本にとっての最悪シナリオは核を保有したままの朝鮮半島統一である。そうならないように、まずは米朝首脳会談、そして韓国の3・1節を注視したい。

内政問題では、沖縄の辺野古の埋立に関する2月24日の県民投票が近づいている。私の家も空自の入間基地と横田基地の近傍にあり、騒音やテレビの映像乱れなどに悩まされている。普天間はそれ以上に危険な地域にある。辺野古への移転は合理的理由があることで、県民投票の結果いかににかかわらず、移転の必要性について、沖縄の住民を粘り強く説得していかなければならない。

◎ 新規課題の整理及び意見交換

井部秀恭委員——新規提案が7名の委員から出たが、短期・中期・長期に分け、テーマを絞って今後の議論を進めていきたい。現状として、①トランプ大統領のアメリカファースト政策による日米同盟の弱体化とそれに対する日本の懸念。②中国・ロシア・韓国・北朝鮮といった近隣諸国の脅威。③米中貿易戦争、ブレグジットによる国際貿易環境の急変。以上を踏まえ、今後の検討課題を、①日本の中国との経済的な結びつきの強化の検証、②中国の東南アジア進出とその軍事的脅威の対応、③米中貿易戦争の日本への影響、④日本の技術力の向上(特に通信・情報技術)、⑤日本の財政改革、⑥憲法改正に向けた民意の拡大、⑦韓国に対する対処、の7点の中から、来月以降の検討課題を決めていきたい。

【意見交換】——(田中勝委員)中国の急成長によって世界のパワーバランスが崩れてきた。その中で、日本はどう対処していけばいいのか、中国の状況を知り分析していくべきだ。(小関委員)日本の大きな問題、少子高齢化についても、ずいぶん前から予測できていたことなのに、対策がなされてこなかった。未来を予測して、その未来に対してしっかりと対策をほどこしていくべきである。(松本委員)日本は孤立しつつある。財政難も深刻だ。先日、日本の高校生が海外で議論ができないことに啞然とした。それは教育ができていないからだ。すべては教育の問題だと考える。(清原専務)未来予測は、本来国が行うべきこと。外務省は多数の駐在員を海外に派遣しているのに、なぜそれができないのか。(井部委員)技術流出を防止する方法を国が率先して対策しなければ。シャープのように中国資本に買われる企業も出始めているが、何とか食い止められないか。(田中勝委員)中国で「国防動員法」という法律ができた。政府が要求したら、あらゆるものを提出しなければならない。つまり、ファーウェイが持っている情報はすべて中国政府に筒抜けということなる。(小関委員)AI分野ではかなり立ち遅れてしまったが、精密部品では強い世界シェアを占めている。それを維持しているうちに、例えば工業用ロボット・自動運転・3Dプリンタ・遺伝子組み換え・先端農業・先進医療・水浄化などの分野で強みを発揮していかなければならない。

【大野部会長のまとめ】井部委員に挙げていただいた7つの課題の中で、最重要と思われるのは、③の米中貿易戦争の日本への影響ではないだろうか。出席委員一同も、異議なくこれを了承したため、米中貿易戦争の日本への影響を次回以降の検討課題とすることに決した。